

2026年5月29日

各位

株式会社富山第一銀行

南陽吉久株式会社との
「ファースト・ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約を締結

株式会社富山第一銀行（頭取 野村 充）は、南陽吉久株式会社（代表取締役社長 中村 正治）を評価対象とした「ファースト・ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約を締結いたしましたのでお知らせします。

本サービスを通じて、取引先の企業活動における環境・社会・経済の3つの側面に対して、インパクトを包括的に特定・分析し、ポジティブインパクトが期待できる活動と、ネガティブインパクトを緩和する活動を支援いたします。

今後も、お客さまに「寄り添う」銀行として、持続可能な社会の実現に向けた企業活動を通じたSDGsの達成に寄与することで、さらなる信認につなげます。

記

1. 商品概要

本商品は、企業活動が経済・環境・社会に与えるポジティブ並びにネガティブな影響をポジティブインパクト金融原則に基づき特定し、ポジティブインパクト（プラスの影響）を拡大、ネガティブインパクト（マイナスの影響）を緩和することでSDGs達成を目指すファイナンスの取組です。当行は、インパクトに対する企業活動の影響・取組を包括的に分析・評価を行います。これらのインパクトに対するKPI（重要業績評価指標）についてお客さまとともに設定し、達成状況や取組状況について、定期的にモニタリングし、達成に向けて支援を行ってまいります。客観性を保つため当行が実施した評価について株式会社格付投資情報センターより第三者意見を取得しています。

2. 融資概要




| | |
|----------|------------|
| 契約締結日 | 2026年5月29日 |
| 借入人 | 南陽吉久株式会社 |
| 融資金額 | 200百万円 |
| 融資種別 | 証書貸付金 |
| 資金使途 | 運転資金 |
| モニタリング期間 | 5年 |

※株式会社格付投資情報センター（R&I）のセカンドオピニオンは、下記URLをご参照ください。
<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>

3. 評価企業概要 南陽吉久株式会社

| | |
|-------|---|
| 代表者 | 代表取締役社長 中村 正治 |
| 本社所在地 | 富山県高岡市能町750 |
| 事業内容 | 住宅設備機器および建築資材の販売、施工管理、 木材販売（国産材、北米材、欧州材、南洋材等）、 構造プレカット材および耐震・制震部材の販売 太陽光発電システム・蓄電池等、環境商品の販売施工 サッシ組立・施工、製材業、マンション・リノベーション事業等 |
| 設立年月 | 1953年7月 |

4. SDGs 達成に向けた取組事例（詳細は評価書をご参照ください）

| | |
|------------------|--|
| 取組内容 | 高品質・高性能な住まいの供給により、豊かで生き生きとしたまちづくりに貢献 |
| インパクトの種類 | 社会面におけるポジティブインパクトの拡大 経済面におけるポジティブインパクトの拡大 環境面におけるポジティブインパクトの拡大 |
| インパクト・カテゴリ | 「住居」「包括的で健全な経済」「資源効率・安全性」 |
| 関連SDGs |    |
| 対応方針 | <ul style="list-style-type: none"> 新工法「大型パネル工法^{※1}」の普及拡大・施工実績の積み上げ及び次世代型パネル「アクラスパネル^{※2}」の取扱量増大により、高品質・高性能な住まいの供給を加速させるとともに、当社および協力会社・関連会社の現場作業負担を軽減させる。 ^{※1} 構造材、耐力面材、断熱材、下地、サッシ等の壁一面の構造を工場で一体化したパネルを使用する軸組工法。殆どの施工を工場で行うため、現場での省施工・省人化が可能。 ^{※2} 耐震性、断熱性、施工性の三拍子が揃った次世代型パネル。ZEHに対応した仕様を標準装備しており、高い環境性能を有している。 |
| 毎年モニタリングする目標とKPI | <ul style="list-style-type: none"> 新工法「木造大型パネル工法」による施工実績累計件数を2027年3月期～2029年3月期において累計140棟以上とする。 (2027年3月期より新たに提供開始するため、過去実績なし。) 2030年3月期以降の目標は改めて設定する。 高性能パネル「アクラスパネル」の年間売上高累計を2027年3月期～2029年3月期において170百万円以上とする。 (2024年3月期～2026年3月期実績：累計94百万円) 2030年3月期以降の目標は改めて設定する。 |

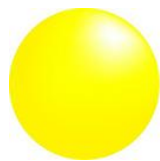


株式会社富山第一銀行 南陽吉久株式会社
高岡中央支店長 堀 祐二 代表取締役社長 中村 正治氏

【本件に関する問い合わせ先】
法人事業部：宮嶋
TEL 076-461-3871

ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書

評価対象企業：南陽吉久株式会社



南陽吉久株式会社
SUNNY LIVE GROUP

2026年5月29日

株式会社富山第一銀行

目次

| | |
|---|----|
| 1. はじめに..... | 2 |
| 2. 会社概要..... | 3 |
| (1) 会社概要..... | 3 |
| (2) グループ構成..... | 5 |
| (3) グループ全体像..... | 6 |
| (4) 経営理念・ビジョン..... | 9 |
| (5) 沿革..... | 10 |
| 3. 事業概要..... | 11 |
| (1) 建築資材卸売部門..... | 11 |
| (2) 建築事業部門..... | 15 |
| (3) 不動産事業部門..... | 16 |
| (4) 太陽光事業部門..... | 16 |
| 4. 独自の取り組み..... | 17 |
| (1) ±C（プラスマイナスシー）プロジェクト..... | 17 |
| (2) 住まい LIVE FAIR..... | 17 |
| (3) DX 認定取得..... | 18 |
| (4) SDGs への取り組み..... | 18 |
| (5) カーボンニュートラル宣言..... | 18 |
| (6) 職場環境・人材育成..... | 19 |
| (7) 地域貢献活動..... | 20 |
| 5. インパクトの特定..... | 21 |
| (1) インパクトレーダーによる包括的なインパクト分析..... | 21 |
| (2) インパクトカテゴリーに対応する SDGs ゴール..... | 23 |
| (3) 日本におけるインパクトニーズの確認..... | 23 |
| (4) 富山県の政策・戦略の確認 ～とやま未来創生戦略～..... | 24 |
| (5) インパクトの特定..... | 25 |
| (6) 特定したインパクトと富山第一銀行との方向性の確認..... | 25 |
| 6. KPI の設定..... | 26 |
| ① 高品質・高性能な住まいの供給により、豊かで生き生きとしたまちづくりに貢献..... | 26 |
| ② 環境負荷軽減に向けた取り組みの強化..... | 27 |
| ③ 個性と能力を発揮し、多様で柔軟な働き方を実現できる職場環境を整備..... | 28 |
| 7. 管理体制とモニタリング..... | 29 |
| (1) インパクトの管理体制..... | 29 |
| (2) モニタリング方法..... | 29 |
| 注意事項・免責事項..... | 30 |

1.はじめに

株式会社富山第一銀行は、南陽吉久株式会社に対してポジティブ・インパクト・ファイナンスを実施するにあたって、当社の企業活動が、環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブな影響及びネガティブな影響）を分析・評価した。

今回の資金調達先である南陽吉久株式会社は、サニーライブグループ（以下、当社グループ）の中核企業となる。当社グループは、サニーライブホールディングス株式会社をホールディングスカンパニーとして、南陽吉久株式会社、光陽興産株式会社、株式会社ウッディパーツ、株式会社エコネット物流、光陽電設株式会社、内外商工株式会社、株式会社スミカ、オモビト株式会社、株式会社マンションセンター、Sunnext 株式会社で構成されており、このグループ会社各社は事業戦略上、各々が密接に連携して事業展開を行っている。このため、インパクト分析の評価にあたっては、グループ全体を対象として行った。

分析・評価にあたっては、国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱した「ポジティブインパクト金融原則」及び ESG 金融ハイレベル・パネル設置要領第 2 項（4）に基づき設置されたポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的な考え方」に則った上で、南陽吉久株式会社の企業活動における包括的なインパクトを分析した。

株式会社富山第一銀行（以下、「富山第一銀行」）は、本評価書で特定されたポジティブインパクトの拡大とネガティブインパクトの抑制に向けた取り組みを支援するため、南陽吉久株式会社に対し、ポジティブ・インパクト・ファイナンスを実行する。

| | |
|----------------|------------------------|
| 資金調達者の名称 | 南陽吉久株式会社 |
| 調達形態 | 証書貸付 |
| 契約期間（モニタリング期間） | 2026 年 5 月 29 日から 5 年間 |
| 金額 | 200 百万円 |
| 資金使途 | 運転資金 |

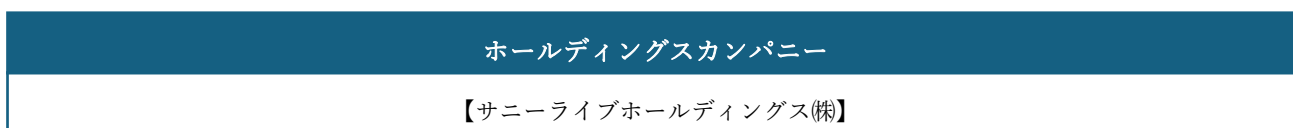
2. 会社概要

(1) 会社概要

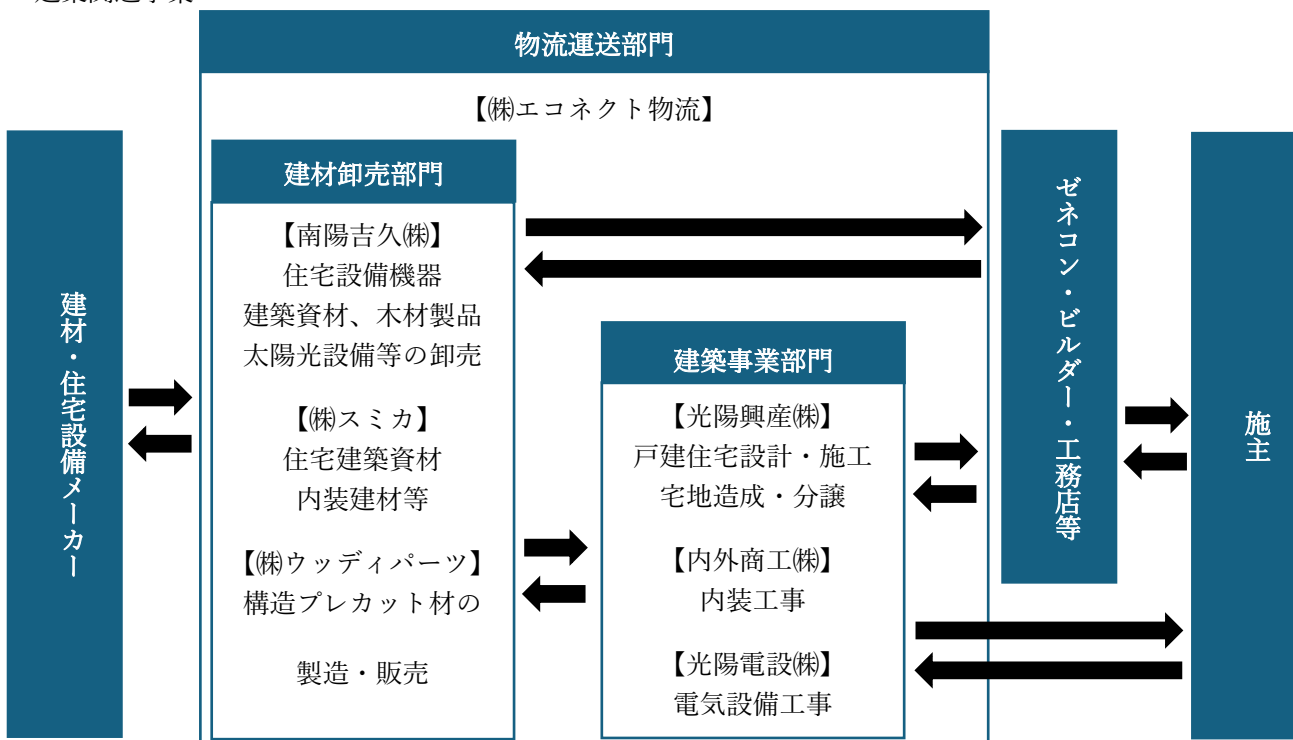
| | |
|---------|---|
| 社 名 | 南陽吉久株式会社 |
| 代 表 者 | 代表取締役社長 中村 正治 |
| 本 社 | 富山県高岡市能町 750 |
| 設 立 年 月 | 1953 年 7 月 |
| 資 本 金 | 100 百万円 |
| 事 業 内 容 | 住宅設備機器及び建築資材の販売、施工管理、 木材販売（国産材、北米材、欧州材、南洋材等）、 構造プレカット材及び耐震・制震部材の販売 太陽光発電システム・蓄電池等、環境商品の販売施工 サッシ組立・施工、製材業、 マンション・リノベーション事業等 |
| 拠 点 | <p>【高岡支店】 富山県高岡市能町 750</p> <p>【富山支店】 富山県富山市赤田 829-13</p> <p>【金沢支店】 石川県金沢市問屋町 3-3</p> <p>【福井支店】 福井県福井市大土呂町 1-13-1</p> <p>【新潟支店】 新潟県新潟市東区竹尾 4-10-10</p> <p>【長岡支店】 新潟県長岡市新産 1-1-9</p> <p>【新潟江南営業所】 新潟県新潟市江南区二本木 4-5-37</p> |
| 従 業 員 | 149 名（2026 年 3 月現在） |
| 許 可 番 号 | <p>一般建設業（国土交通大臣許可（般-6）第 23029 号）</p> <p>二級建築士事務所（富山県知事登録 第(1)2348 号）</p> <p>木材業者・製材業者（登録番号 第 3264 号 新潟県木材組合連合会）</p> <p>合法木材（団体認定番号 新潟県木連第 107 号 新潟県木材組合連合会）</p> |

| | |
|--------|--|
| 社名 | サニーライブホールディングス株式会社 |
| 代表者 | グループ CEO 中村 正治 |
| 本社 | 富山県高岡市能町 750 |
| 拠点 | <p>【本社】 富山県高岡市能町 750</p>  <p>【東京支社】 東京都港区南青山 4-18-16 フォレストヒルズ WESTWING B1F</p>  |
| グループ企業 | <p>SUNNY LIVE GROUP (サニーライブグループ)</p> <p>【南陽吉久株式会社】</p> <p>【光陽興産株式会社】</p> <p>【株式会社ウッディパーツ】</p> <p>【株式会社エコネクト物流】</p> <p>【光陽電設株式会社】</p> <p>【内外商工株式会社】</p> <p>【株式会社スミカ】</p> <p>【オモビト株式会社】</p> <p>【株式会社マンションセンター】</p> <p>【Sunnex 株式会社】</p> |
| 資本金 | 530 百万円 (グループ計：2026 年 3 月現在) |
| 売上高 | 19,825 百万円 (グループ計：2026 年 3 月実績) |
| 従業員数 | 639 名 (グループ計：2026 年 3 月現在、パート・アルバイト含む) |

(2) グループ構成



< 建築関連事業 >



< その他事業 >

| | | | |
|--------------|-----------------------------|-------------|-----------------|
| 太陽光発電 | 不動産賃貸/管理/販売 | 高級輸入家具/雑貨販売 | ライフサポートアミューズメント |
| 【Sunnext(株)】 | 【光陽興産(株)】 【(株)マンションセンター】 | 【オモビト(株)】 | 【光陽興産(株)】 |

< ブランド一覧 >



陽だまりの湯 (スーパー銭湯) 湯屋 FUROBAKKA Bay West (ゴルフ練習場) CUSMO (土地活用サポート)



GERVASONI (イタリア家具) baxter (イタリア家具) MERIDIANI (イタリア家具) 雨晴 (国産クラフト雑貨)

(3) グループ全体像

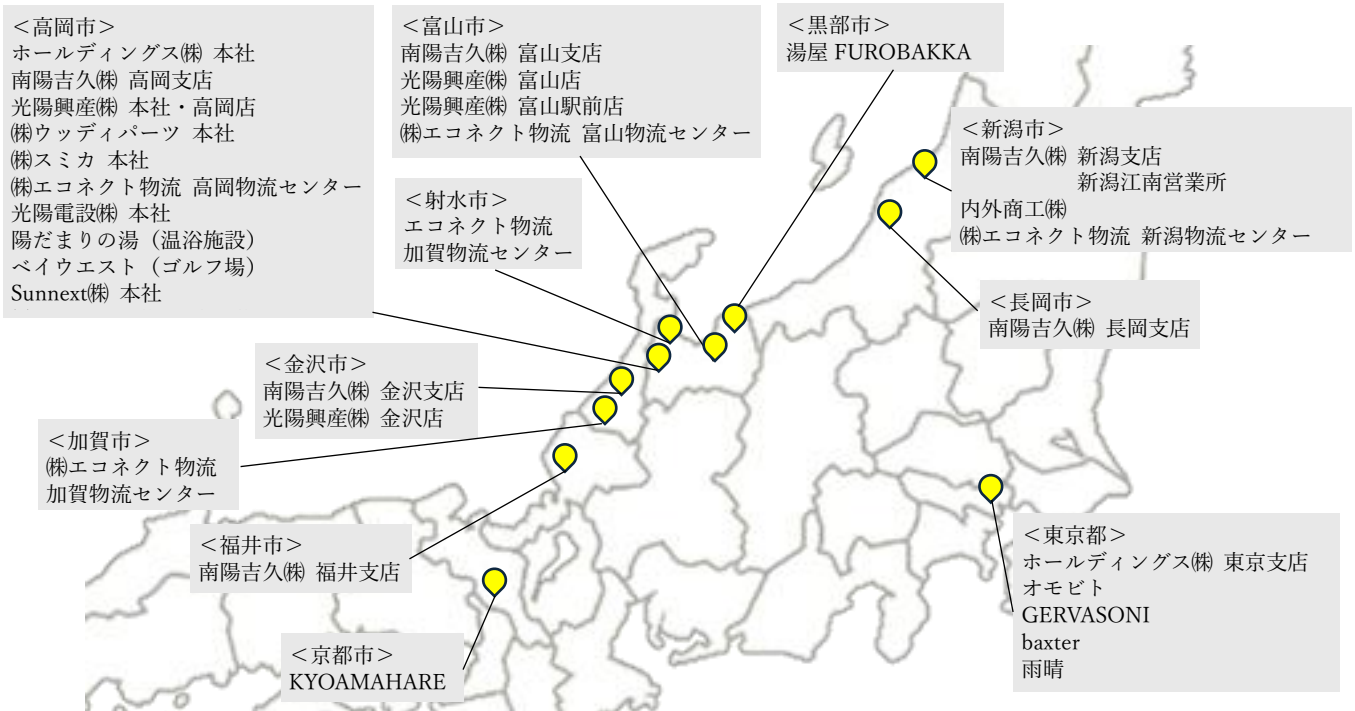


当社グループは、持ち株会社であるサニーライブホールディングス株式会社と「住まいと暮らし」に携わる事業を展開する 10 社で構成されるグループ企業である。グループミッションは、「住まい」「生活」「人生」をもっと活き活きと楽しいものにしていくことであり、人々の生活、あるいは人生そのものをより豊かで楽しいものへと導くことが当社グループの本質であると位置付けている。

事業領域は、建築資材・住宅設備機器の販売から建築工事、プレカット材の製造・販売、不動産、物流運送、温浴施設の運営に至るまで多岐にわたり、住環境の基盤づくりを支える役割を幅広く担っている。

本社は富山県高岡市に所在し、北陸三県をはじめ新潟、東京にも拠点を展開し、全国広域にわたって事業活動を推進している。

<グループ会社拠点一覧>



当社グループの特徴は、多角的なサービス展開にある。建築事業では、木材の加工や耐震部材の提供、太陽光発電システムの販売を通じて、環境に配慮した住空間の実現を目指している。不動産分野においては、地域に根ざした住まいを提案し、安心かつ安全な住環境を提供している。物流運送事業についても、効率的な流通の担い手として各企業の活動を支えている。

加えて、暮らしに寄り添うサービスとして、温浴施設「陽だまりの湯」や「湯屋 FUROBAKKA」の運営を行い、地域住民に憩いの場と心身の豊かさを提供している。

多様な事業を通じて、「活き活きとした暮らし」を地域全体へ広げることを目指す企業グループであり、住まいから始まる豊かな生活の価値を形にし続ける存在である。

<取扱商材>

| 南陽吉久株式会社(サニーライブグループ) 取扱商材 | | | |
|---------------------------|---------------|--|---|
| 住宅資材販売 | 建材 | 内装材 | 一般建材(床・壁・天井)、開口部材(ドア・クローゼット)、防音建材、無垢材(床・壁)、集成材、銘木 |
| | | 外装材 | 窯業系サイディング、金属系サイディング、屋根材、破風材、雨樋 |
| | | 基礎資材 | 合板、耐力面材、石膏ボード、シーリングボード、MDF、断熱材、遮熱材 |
| | | 窓用部材 | アルミサッシ、玄関ドア、エクステリア商材 |
| 住宅設備機器 | 水廻り | システムキッチン、バス、トイレ、洗面台 | |
| | 設備機器 | エコキュート、石油給湯器、ガス給湯器、蓄熱暖房器、IHクッキングヒーター、ガスコンロ、ホームエレベーター | |
| | 空調機器 | エアコン、換気システム | |
| インテリア商材 | 家具、カーテン、照明 | ソファ、ダイニングテーブル・チェア、TVボード、カーテン、室内照明 | |
| 住宅資材 | その他 | 介護用品、防犯用品、防蟻材(シロアリ工事)、各種金物 | |
| 生産事業 | サイディングプレカット事業 | サイディングプレカット同質出隅生産 |  |
| | 構造プレカット事業 | 構造加工、羽柄加工、合板加工 | |
| 工事システム | 外装工事 | 屋根、外壁、防水、板金、雨樋、金属サイディング、窯業系サイディング、サイディングプレカット、コーキング、遮熱工事 | |
| | 断熱工事 | ウレタンフォーム断熱、セルロースファイバー(デコスドライ工法)、充填断熱、外断熱、基礎断熱 | |
| | 設備工事 | 空調、エアコン、水廻り、床暖房、給湯器 | |
| | 内装工事 | 木工事、ボード貼工事、防音工事、内装クロス貼、軽量鉄骨、床工事、建具取付 | |



当社グループは、祖業である建築資材卸で培ったノウハウを基盤に、地域の住まいづくりを幅広く支援する商材を提供している。具体的には、床材・壁材・サッシ・内外装材等の基材に加え、キッチン・バス・トイレといった住宅設備を扱い、住まいの快適性と利便性を提供している。木材販売やプレカット技術により、施工効率の向上と資源の有効活用を実現するとともに、環境負荷軽減の取り組みを進めている。

また、脱炭素化を目指す企業に対しては、自家消費型太陽光発電設備や系統用蓄電所、オフサイトコーポレートPPAの提案により再生可能エネルギーの利用促進を図っている。加えて、耐震性・断熱性・施工性に優れる次世代型パネルの提供を通じて、ZEH対応住宅の普及拡大を推進している。これらの環境配慮型建築の実現を通じて、地域社会に貢献している。

<サポート体制>

| 南陽吉久株式会社(サニーライブグループ) 工務店様・ビルダー様 サポートシステム | | | |
|---|----------------------------------|--|--|
| 法 関 連 サ ポ ー ト | 設計/申請業務 | 確認申請、木造建築構造計算 (南陽一級建築士事務所) |  |
| | 非住宅木造建築物設計 | 計画段階から構造計算までサポート | |
| | 保証/保険 | 取壊保険・工事保険・完成保証(住宅あんしん保証取次店)、フラット35S | |
| 建 築 / 施 工 サ ポ ー ト | 耐震・制振工法 | 様々な形式の制振部材と効果的に効かせるプランニングをサポート |     |
| | 地盤 | 地盤調査から改修方法のご提案、地盤保固までをサポート | |
| | 防蟻/防腐処理 | 木材の加圧注入防腐や無害塗布工法、既存住宅での駆除まで | |
| | 既存住宅耐震補強 | (木造)耐震診断ができるスタッフが、補強方法までをサポート | |
| | 外皮計算/一次エネルギー計算 | プラン段階のご相談から申請に至るまでトータルサポート | |
| | 認定低炭素住宅/ゼロエネルギー住宅申請 | 地域型住宅グリーン化事業で認定低炭素住宅・ゼロエネルギー住宅のサポートをいたします | |
| | 環境事業 | 太陽光発電や蓄電池、LED、HEMS、スマートハウスなど最新のご提案と設計施工 | |
| | 施工品質管理 | 各種施工の工事管理(安心・安全の見える化) | |
| 資 産 活 用 サ ポ ー ト | 遊休地対策 | 産業用太陽光発電装置、戸建賃貸住宅CUSMO(カスモ) |  |
| | 既存賃貸住宅 | マンションリノベーション、RE住む(Panasonic)、サブリース取次 | |
| 受 注 サ ポ ー ト | 住宅販売支援システム(新築) | テクノストラクチャー(Panasonic)、イノスの家(住友林業) 戸建賃貸住宅CUSMO、ユニキューブ |   |
| | 住宅販売支援システム(リフォーム) | リファイン・わが家見なおし隊・RE住む(Panasonic) TOTOリモデルクラブ、トクラスリフォームクラブ、水まわり工房(クリナップ) | |
| | 住まいづくりのお手伝い ～プランニング・営業ツール・積算～ | お打合せに同席し、最適なプランからプレゼンボード、積算までをご支援 | |
| | 住まいづくりのお手伝い ～OB施主アフターメンテナンス～ | 定期的なアフターメンテナンスのお知らせからメンテナンス施工まで一貫したサポート体制 | |
| 国 策 サ ポ ー ト | 長期優良住宅推進/リフォーム事業 | 長期優良住宅、長期優良住宅化リフォーム推進事業 |   |
| | 地域型住宅グリーン化事業 | 新築の長期優良住宅・認定低炭素住宅・ゼロエネルギー住宅は当社が事務局となって全面サポート 越後の住まいを守る会(新潟県)、 北陸住まいづくりを考える会(福井県・石川県・富山県) | |
| | 国策、補助金、助成金のサポート | 団体申請から個別申請、補助金手続きまで | |
| サ ポ ー ト 物 流 | 配送最適化によるコストダウン | 郵便計画配送で無駄な配送費を削減し、利益の創出をご支援 |  |
| | 地域密着配送 | 富山県、石川県、福井県、新潟県をカバーする地域密着サポート配送 | |

当社グループは豊富な経験を活かし、住宅建築を支援するために多岐にわたるサポートを提供している。その中心となるのが構造プレカット材の提供であり、耐震・制震部材の販売や施工管理も網羅している。また、大型パネル工法や国策に基づく住宅建設のセミナー開催に加え、最新の省エネ基準を学ぶ講座や技術研修も行い、施工者の技術力向上を支援している。さらに、太陽光発電システムや環境に配慮した商品の提供により、時代が求める家づくりを可能とし、サステナブル住宅の普及を後押しする仕組みが整っている。これらのサービスと活動を通じて、施工に携わるプロフェッショナルに対し実用性と安心感を提供している。

(4) 経営理念・ビジョン

— MANAGEMENT PHILOSOPHY —

わが社は常に正しい発展経営を展開することによって適正な企業利益をあげ

1. 社員の生活の向上と幸福
1. 顧客の利益と国家社会への貢献
1. わが社の永続的發展を図る

わが社は顧客によって存在し社員とともに發展繁榮する。

時代は変わり、社会は変わり、企業は変わりつづけます。

しかし、企業のなかで変わらないものがあります。

それは経営理念です。わたしたちの経営理念は昭和46年に生まれました。

長い歳月を越えて守りつづけてきた普遍的な意志であり、存在意義です。

サニーライブグループとして活動する現在も、未来も、この理念が揺らぐことはありません。

社会に貢献し、地域とともに發展する。

それがわたしたちの考える成長の在り方です。

— SPIRITS OF FOUNDATION —

「創破」

サニーライブグループで創業時から受け継がれてきた、DNAともいうべき言霊の『創破』。自らを変革し、新しい価値をつくりだすことを恐れない。勇気をもって創造と破壊をくりかえす。『創破』の精神は、これまでもこれからもわたしたちの中に生きつづけます。

— DOMAIN OF SUNNY LIVE GROUP —

LIFE を LIVE にする

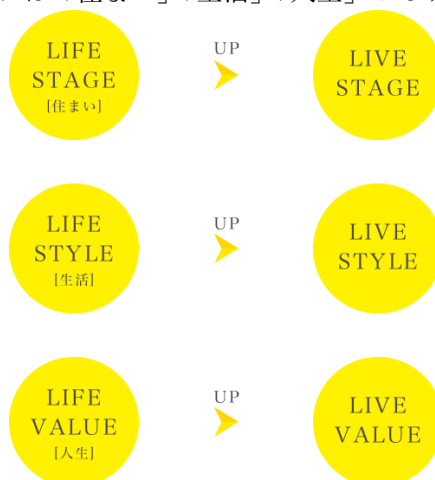
サニーライブグループはLIFEに関わる事業を展開しています。

人々の生活[LIFE]や人生[LIFE]が

個性的で、楽しく、豊かなものになればLIFEは躍動し、LIVEになります。

わたしたちの使命は、LIFEをめぐる様々な事業を興し、すべてのみなさまのLIFEをLIVEに進化させることです。

サニーライブグループは「住まい」「生活」「人生」の3テーマで事業を展開。



それぞれ3つの「LIFE」をUPすると、「LIVE」に進化する。

(5) 沿革

| | |
|----------|-----------------------------|
| 1953年 7月 | 南陽木材 設立 |
| 1961年10月 | 木材部門を分社 吉久木材（現・吉久） 設立 |
| 1970年 9月 | 南陽木材から南陽に社名変更 |
| 1973年 4月 | 南陽ホーム 設立（現・BESS北陸） |
| 1978年 4月 | 光陽興産 設立 |
| 1982年 6月 | 本社を高岡市能町750に移転 |
| 1993年 3月 | 吉久木材を吉久に商号変更 |
| 1993年 7月 | ウッディパーツ 設立 |
| 2011年 9月 | エコネクト物流 設立 |
| 2014年 2月 | 南陽グループからサニーライブグループにグループ名称変更 |
| 2015年 3月 | 池田電機工業（現・光陽電設）がグループの一員になる |
| 2016年 7月 | サニーライブホールディングス 設立 |
| 2016年11月 | 光陽興産と光陽企画が合併 |
| 2017年 1月 | 池田電機工業から光陽電設に社名変更 |
| 2017年10月 | 南陽吉久株式会社誕生（南陽と吉久が合併） |
| 2018年 9月 | 内外商工がグループの一員になる |
| 2019年 3月 | 阿部木材工業がグループの一員になる |
| 2019年11月 | 大尚運輸がグループの一員になる |
| 2022年 3月 | マンションセンター、他2社がグループ会社になる |
| 2022年 4月 | 阿部木材工業のほぼすべての事業を南陽吉久に事業統合する |
| 2022年 9月 | スミカがグループの一員になる |
| 2023年 1月 | エコネクト物流と大尚運輸が合併 |
| 2023年 8月 | 南陽オモビトがオモビトに社名変更 |
| 2024年 4月 | 南陽吉久と阿部木材工業が完全合併 |



3. 事業概要

(1) 建築資材卸売部門

➤ 南陽吉久株式会社

【当社概要】



当社は富山県高岡市に本社を構え、「LIFE is LIVE -住まいを照らす太陽のように-」をスローガンに掲げる企業である。1953年の設立以来、70年以上にわたり、住宅設備と建築資材の分野で事業を展開してきた。主に木材販売、太陽光発電システムや耐震部材等の建築資材の提供に加え、施工管理も手掛け、地域の住環境の充実に貢献している。また、北陸から関東まで拠点を広げ、多岐にわたる製品ラインアップを備え、イベントやセミナーを通じて新たな住まいの価値を提案していることが特徴である。当社は省エネや環境配慮型住宅の推進、効率的な施工技術の提供を通じて、地域社会のニーズに応える企業として幅広い評価を獲得している。これまで培ったノウハウを活かし、安心・快適で持続可能な住環境の実現に尽力している。



【主力製品①（アクラスパネル）】

<製品概要>

アクラスパネルは、耐力面材と断熱材を一体化させた次世代型パネルであり、日本の住宅建築が直面する「職人不足」と「高断熱化要請」に応える最適解として開発された。断熱材には世界最高水準の熱伝導率 $\lambda=0.019 \text{ W/m}\cdot\text{k}$ を誇る硬質ウレタンフォームを採用し、高断熱性能を実現。施工工程を効率化し、躯体組立と断熱工事を同時に完了させることで、工期短縮や廃材削減にも寄与する。環境負荷

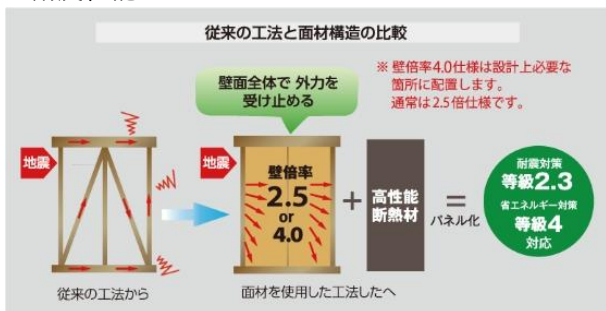
軽減と施工品質向上に貢献する画期的な製品である。

<製品仕様一覧>

| | |
|---|--------------------------|
| 省エネルギー基準 | 適合 |
| 防火認定 | 外壁材の仕様指定により適合 |
| 断熱材(標準/OP) | 硬質ウレタンフォーム保温版(60mm/75mm) |
| 熱伝導率: λ (W/mk) | 0.019 |
| 熱抵抗値: R ($\text{m}^2 \text{ k} / \text{W}$) | 3.15 |
| 耐力壁/壁倍率 | MDF/2.5 MDF/4.0 |

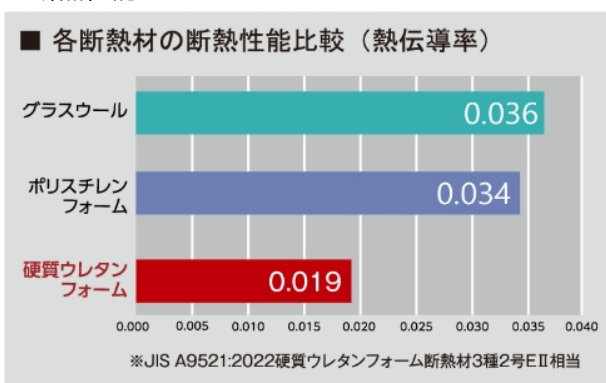
| | |
|------------|----------------------------------|
| 枠材 | 国産スギ乾燥芯材 含水率 20%以下 |
| 真壁仕上げ対応 | 対応(壁厚 75mm) |
| 取り付け | M75@300mm (壁倍率 4.0 仕様は@120mm) |
| ホールダウン金物施工 | 対応 |
| 床工法 | 床勝ち・壁勝ち・対応 |
| 妻壁(勾配加工) | 対応 |

<耐震性能>



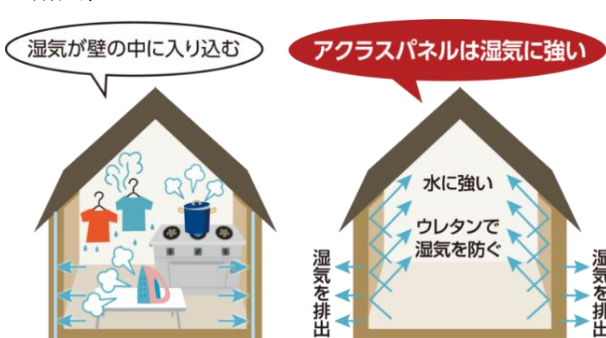
従来の在来木造軸組工法では、筋交いと構造用合板による耐力壁が主流であったが、耐震等級を取得するには多数の耐力壁が必要となり、空間の可変性が制約される欠点があった。アクラスパネルは壁倍率4.0を有し、耐力壁を外周部に集約することで大きな開口部の設計を可能とする。構造用合板の約1.5倍の強度を備え、住宅全体の耐震性能を向上させ、耐震等級「2」や「3」の取得を実現する。

<断熱性能>



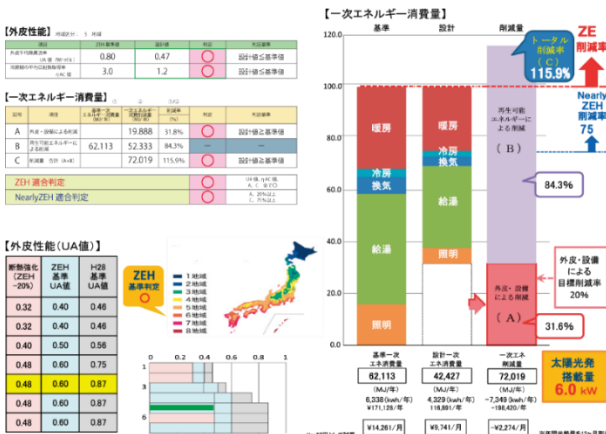
アクラスパネルに採用されている硬質ウレタンフォームは、断熱材料の中でも熱伝導率が極めて低く、高い断熱性を発揮する素材である。この性能により、住まいの耐久性に影響を与える内部結露（壁体内結露）を効果的に防止することが可能である。また、高断熱性は快適な室内環境を維持するとともに、建物の劣化を抑え耐久性を向上させる。長期にわたる住まいの安心を支えるために重要な役割を果たす。

<耐久性>



住宅を構成する部材の多くは、長い年月を経て経年劣化を引き起こす。壁内に使用される断熱材も例外ではなく、隙間から湿気が入り込むことは建物の耐久性にとって大敵である。アクラスパネルは、こうした問題に対応するため、様々な状況を想定し、細部にわたり工夫を凝らして設計されている。大切な住まいに安心して使用できるよう配慮されている。

<ZEHへの対応>



これからの住宅には省エネルギー化が不可欠である。アクラスパネルは、ZEHに対応した仕様を標準装備している。(但し、設計プランごとに計算と確認が必要)

●ZEHとは…

ZEH (ゼロ・エネルギー・ハウス) とは、高断熱・高効率な設備を用いることで、住宅の消費エネルギーを抑え、太陽光発電等で自家発電を行い、年間のエネルギー収支をゼロにする住宅である。

<安全品質と施工性>



アクラスパネルは、上棟作業と同時に断熱工事をほぼ完了させる。真壁納まり仕様により、室内側から柱間施工が可能で足場が不要。耐力面材と断熱材を工場一貫生産することで品質を安定させ、現場では躯体に合わせてはめ込み、枠材を釘で留めるだけで施工が完了する。施工者の技能差を抑えながら短工期で風雨対策を実現し、構造と断熱を効率的に仕上げる革新的な製品である。

<施工事例>



【主要製品②（大型パネル工法）】

<製品概要>



大型パネル工法は、建物の壁や床といった構造部分を、大型のパネルとしてあらかじめ工場で製造し、現場に運んで組み立てる建築技術である。この工法は、木造住宅を中心に取り入れられており、精密加工が可能な工場生産により高い品質を確保できる点が特徴である。現場の手間を削減し、施工期間の短縮にも寄与するため、効率的な家づくりが可能となる。また、大型の構造部材を一体として製造することで、耐震性の向上や気密性・断熱性能の強化が期待される。これにより、居住する上での安全性と快適性を両立できる工法となっている。この技術は、次世代の環境対応住宅の建設にも適しており、持続可能な建築方法として注目されている。

<ビルダー・工務店向けセミナー>



当社は、大型パネル工法の普及拡大に向け、専門セミナーを通じてその特徴や活用方法を広く伝えている。この工法は、精密な工場生産による品質向上や施工期間の短縮、耐震性・断熱性の強化を実現する次世代技術である。セミナーでは、技術的な詳細事項や活用事例、設計・施工方法が紹介され、ビルダーや工務店に向けた効率的な建築支援の場として高い評価を得ている。次世代住宅の施工技術向上を目指すプロフェッショナルの学びと交流の場となっている。

【主要製品③（リフォーム／リノベーション）】

<製品概要>



既存の一軒家やマンションを購入後、間取りや内外装デザインをライフスタイルや好みに合わせて改修し、理想の住空間を実現する「リノベーション」が注目されている。既存住宅でも間取りやインテリアに妥協せず、自分らしい住まいを作り上げることで、賢く理想の暮らしを叶えることができる。

<住宅診断>



建物は人と同じく加齢し、経年変化や劣化を避けることはできない。安心して現在の住まいに長く暮らし続けるため、また既存住宅の購入や売却を安心して取引するために、当社では第三者の立場で住宅診断（ホームインスペクション）を実施する体制を整えている。

●住宅診断とは…

住宅診断士（ホームインスペクター資格保有者）が、第三者として客観的かつ専門的な視点で住宅の劣化状況を評価し、改修が必要な箇所や時期、おおよその費用を見極めてアドバイスを行うサービス。

(2) 建築事業部門

➤ 光陽興産株式会社

【主要製品（新築工事）】

<製品概要>



当社グループの光陽興産株式会社では、アパート建築を中心に、住宅や店舗の設計・施工を行っている。宣伝や営業は一切行わず、建物のクオリティ向上に専念している点が特徴である。

また、グループ会社との連携を活かし、アパートや中古物件のリフォーム・リノベーションの提案、土地の有効活用、入居者募集等、不動産運営を幅広くサポートしている。富山・高岡エリアを中心に、地域密着型のサービスを提供し、信頼と安心を築いている。



アパート・戸建賃貸住宅

土地の活用方法から収益物件のサポートまで、グループ会社との連携により、アパートや中古住宅等のリノベーション提案、土地の有効活用の提案から施工、入居者募集、管理に至るまでを一括して行うことができる。



住宅

木造・鉄骨を問わず、さまざまな住宅を施工している。光陽興産では、デザイン住宅、戸建賃貸住宅、サービス付き高齢者向け住宅に加え、デイトナハウスやガレージハウスの施工等、多様なジャンルの住宅建築を手がけている。

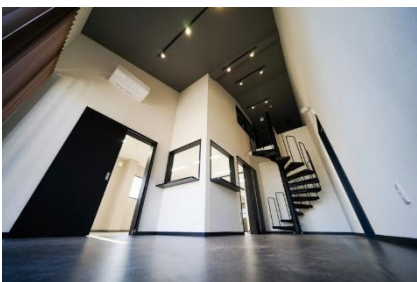


店舗・施設

店舗や各種施設等の非住宅建築を施工している。デイサービス（リハビリ訓練あり）、居酒屋等の店舗、木造ガレージ、倉庫、公民館等、非住宅の種類は多岐にわたる。木造・鉄骨造を問わず設計・施工が可能。

<施工実績>

01 モダンな自動車整備工場オフィス



02 田園風景の広がる有料老人ホーム



03 片流れの大屋根が特徴的な店舗併用住宅



04 全国最大クラスのカラージアパート



05 黒部に待望の湯遊びテーマパーク誕生



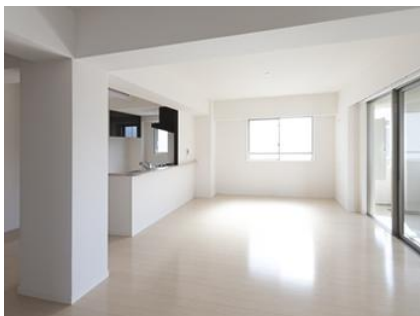
06 極上のリゾートステイを日常にする空間



(3) 不動産事業部門

➤ 光陽興産株式会社

【主要製品】



不動産賃貸

アパート、マンション、戸建て、テナント等の豊富な賃貸物件情報から顧客のライフスタイルにあった物件を提案する。



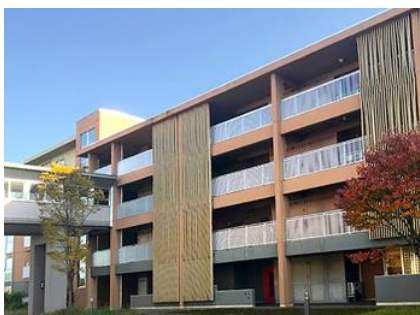
不動産売買

物件の査定や買取相談を無料で行う。「売る」だけの選択ではなく、顧客にとっての最善策を提案する。



宅地造成・区画整理

一般の民間宅地造成から、道路や公園緑地等、都市づくりのための土地区画整理事業を行う。



県営住宅管理

富山県全域の県営住宅の管理を行う。県営住宅は入居資格が特別に定められ、低廉な家賃で入居できる賃貸住宅である。



戸建賃貸

新しい資産運用として、戸建賃貸住宅による土地の有効活用を提案する。



リフォーム・リノベーション

物件探しからデザイン、施工、アフターメンテナンスまでリフォーム・リノベーションに必要な全てを一括サポートする。

(4) 太陽光事業部門

➤ Sunnext 株式会社



太陽光事業は、当社グループのカーボンニュートラル宣言を象徴する事業部門であり、環境価値を経済価値に変換する重要な役割を担っている。

当社グループの Sunnext 株式会社は再生可能エネルギーの普及をミッションとし、産業用及び住宅用の太陽光発電システムの販売・施工・保守を手掛けている。近年のトレンドである「自家消費型太陽光発電※」において、北陸地域で先駆的な役割を果たしている。

※工場の屋根等に設置した太陽光パネルで発電した電気を、売電せずに自社の設備で直接使用するシステム

<自家消費型太陽光発電のメリット>

| | |
|----------|---|
| 電気代の大幅削減 | 電力会社からの購入電力量を減らすことで、電気料金高騰リスクを回避する。 |
| 環境負荷の低減 | 再生可能エネルギーの自給自足により、企業の CO2 排出量を直接的に削減する。 |
| 停電・災害対策 | 蓄電池と組み合わせることで、災害時の非常用電源として機能し、地域企業の BCP（事業継続計画）を強化する。 |

4. 独自の取り組み

(1) 土C（プラスマイナスシー）プロジェクト

当社は建材を扱う企業としてカーボンニュートラルの取り組みを積極的に推進している。カーボンニュートラルの実現に向けて、当社グループ横断的に土Cプロジェクトを始動させた。本プロジェクトでは2050年までに当社グループにおける二酸化炭素の排出量をプラスマイナスゼロにすることを目標に掲げている。



カーボンを貯める、カーボンを減らす
単なる環境保全ではない。
森林をはじめとする自然環境は、未来を創生する孵化装置と定義する。
すなわち、自然環境はまちづくりの資源であり、
グループすべてのビジネスの源泉としていく。
わたしたちは、森林と都市を分別しない。
地球と地域を分離しない。自然と経済を分断しない。
それが『土Cプロジェクト』の基本コンセプトであり、
サニーライブグループの新しい未来戦略である。
すべてのビジネスは、環境を軸に思考せよ。
自然を活用し、地球と共生し、未来を創成せよ。



(2) 住まい LIVE FAIR



「住まい LIVE FAIR」は、当社グループ（主催：南陽吉久株式会社）が毎年開催する、北陸最大級の住まいに関する総合展示・啓発イベントである。このフェアは単なる製品展示の場に留まらず、その時々における重要な社会課題をテーマに掲げ、地域の教育の場としての役割を果たしている。このような大規模イベントの継続開催は、当社グループが地域社会における「住まいと暮らしの情報ハブ」としての機能を確立していることを象徴し、地域全体のレジリエンス（強靭性）向上に寄与している。

<過去開催のテーマ>

| | |
|---------|--|
| 防災 | 地震体験車による疑似体験や、停電時における蓄電池や電気自動車の活用デモンストレーションを通じて、住民の防災意識向上を直接的に支援した。 |
| 地域参加型 | 地元出身の著名人による防災ステージ、被災地支援ワークショップ、子供向けの職業体験コーナー等を設け、多世代が「暮らし」を考える機会を提供した。 |
| 最新技術の普及 | アクリルパネルや LIVE BOX、ZEH 対応建材等を一堂に展示し、地域の住環境の高性能化を促進する技術情報を、施主や工務店に向けて発信した。 |

(3) DX 認定取得



当社グループである光陽興産株式会社は2024年4月にDX認定事業者にて認定された。認定は富山県内11社目、県内不動産業者としては初めてである。

当社はデジタル変革(DX)を経営の最重要課題と位置付け、「デジタル技術」と「人の創造性」を融合させ、未来に向けたビジョンを実現することで、社会に貢献し続ける企業へと進化することを目指している。

(4) SDGs への取り組み



当社グループはSDGsの取り組みに賛同し、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでいる。

【環境宣言】
 未来の子供たちに大切な資源を引継ぐために

【環境理念】
 サニーライブグループは、環境問題への取り組みが人類共通の課題と認識し、企業の社会的、

VISION 01 プレカット事業を通じて森林資源の循環に貢献

- プレカット加工による木造建築のさらなる合理化を推進
- 国産材を積極活用し、合法伐採木材以外を徹底排除
- 業界の資源・エネルギー消費の効率化
- 住宅エネルギー消費性能の向上を支援

VISION 02 再生可能エネルギー事業を通じてCO2削減に貢献

- 太陽光発電や蓄電池の普及・促進を拡大し、暮らしや地域創生に貢献
- 木材のカスケード利用で、バイオマスの利活用に貢献
- エコドライブでCO2削減、安全確保、経費削減

VISION 03 働きがいのある地域企業を目指すために

- 健康経営の維持向上
- 安心して働くことができる環境の整備
- 性別に関係なく社員個人のスキルUPを推進
- 生産性の向上と作業負荷の軽減を推進し、ワークライフバランスの実現
- 管理職・役員への女性社員の積極的登用を推進

(5) カーボンニュートラル宣言



当社グループは、2022年11月21日、会員として加盟する「一般社団法人サステナブル経営推進機構」(略称：SuMPO)を通じて、2050年カーボンニュートラル達成を目指すことを宣言した。

「循環型社会への対応に挑む」というスローガンのもとに、中間目標を2030年に50%削減(2020年売上高対比)を掲げ、まずは、当社グループの本社敷地内に事業拠点を共有する南陽吉久株式会社、株式会社ウディパーツ、株式会社エコネクト物流と共に取り組みを推進することとしている。

(6) 職場環境・人材育成

【LIVE! FORUM (ライブフォーラム)】



LIVE! FORUM は、当社グループが年に一度開催する全社員参加型のグループ総会であり、第1部と第2部で開催される。第1部では、中村 CEO がグループの計画や今後の方向性を共有し、優秀社員を称える「サニーライブアワード」や永年勤続表彰を行う。第2部では、チーム対抗・会社対抗のゲーム等のレクリエーションを通じて交流を深める。これらの取り組みにより、社内コミュニケーションの活性化と社員のモチベーション向上を図っている。

<開催の様子>



【健康経営宣言】



当社グループでは、社員の健康を重要な経営資源の一つと捉え、健康の保持・増進を支援するとともに、組織的な健康づくりを推進している。これにより、「一人ひとりが心身ともに健康で生き生きと働ける」職場環境の実現を目指している。

これまで当社グループの2社が、経済産業省が発表する「健康経営優良法人」の中小規模法人部門に認定されている。

【ダイバーシティ推進室】

各種制度の整備や啓発活動、働き方改革の推進を通じて、多様な人材が能力を発揮できる職場環境を整え、組織全体の活性化と生産性向上に取り組んでいる。

<具体的な取り組み>

ユニバーサリー休暇の新設

【社内スカウト制度】

自社の社員を対象に、他のグループ会社や部署、役職への異動を促進するための制度。グループ間の人材還流を活発にし、社員の能力開発と、主体的かつ柔軟なキャリア形成の実現を目指している。

<具体的な取り組み>

社員対し、年に一度、自身のスキルやキャリアの希望を申告するためのアンケートを実施する。

各部署はアンケートの回答内容を元に、自部署に適した人材をスカウトする。

(7) 地域貢献活動

【サニーライブの森】



当社グループは、設立70周年を記念し、2023年12月に富山県高岡市の手洗野にて記念植樹を行い、サニーライブの森を創出した。

グループ各社から約40名が参加し、約180平方メートルの敷地に優良無花粉スギ「立山森の輝き」と山栗の木を70本、肥料の役割があるヤマハノキ70本を植樹した。

下草刈りをはじめとする保全活動を継続的に展開し、植樹した苗気が着実に成長し、地域の豊かな自然環境の一助となることを目指している。

<活動の様子>



【富山グラウジーズに協賛】



当社グループは、地元プロバスケットボールチーム「富山グラウジーズ」のオフィシャルパートナーとして、チームの応援に加え、スポーツを通じた豊かで健康的な地域社会づくりに積極的に取り組んでいる。

また、当社グループ主催の冠ゲームを定期的で開催し、試合当日の限定キャンペーンやファン向けプレゼント企画も実施することで、地域のスポーツ振興とスポーツを軸とした地域活性化に貢献している。

【「ジョブキッズとやま」への参加】



当社グループは、富山県が産学官連携して取り組む、子供のお仕事体験イベント「ジョブキッズとやま^{*}」に参加し、地域の子供たちが富山県の仕事を体験し学ぶことで、将来、ふるさと富山で働くことへの憧れや夢へと繋がるよう職業意識育成の場を提供している。

^{*}富山県内の小学生がさまざまな仕事を体験し、働く楽しさや社会の仕組みを学べる夏休みの職業体験イベント。多様な企業や団体が参加し、地域のキャリア教育を支えている。

【「社会に学ぶ14歳の挑戦」への参加】



当社グループは県内の中学2年生を対象にした職場体験学習「14歳の挑戦」に参加し、地域の子供たちが規範意識や社会性を学ぶ中で、自分の将来について広い視野をもつ等、生涯にわたって逞しく生き抜く力を身につけるための支援に取り組んでいる。

^{*}中学2年生が5日間、地域の事業所や福祉施設で職場体験を行うキャリア教育活動で、社会性や規範意識を育み、将来の生き方を考える機会となる取り組み。

5. インパクトの特定

(1) インパクトリーダーによる包括的なインパクト分析

① 包括的なインパクト分析

富山第一銀行は南陽吉久株式会社の事業内容やバリューチェーン分析等の結果をもとに、主要・関連業務を特定し、UNEP FIが推奨するインパクトマッピングを実施し、ポジティブインパクト及びネガティブインパクトの分布を調査した。

当社の主要事業は、国際産業標準分類に則り、「建築材料、金物及び配管・暖房器具卸売業（4663）」「建築用木材及び建具製造業（1622）」「建築工事業（4100）」を適用。川上の事業として「建築用木材及び建具製造業（1622）」を適用とした。川下は一般個人を含めて分析対象が多岐にわたるため、省略する。

| 国際産業標準分類 | 川上の事業 | | 当社の事業 | | | | | | |
|-------------|----------------------------|----------|-----------------------------------|----------|----------------------------|----------|-----------------|----------|----|
| | 【1622】 建築用木材及び 建具製造業 | | 【4663】 建築材料、金物及び 配管・暖房器具卸売業 | | 【1622】 建築用木材及び 建具製造業 | | 【4100】 建築工事業 | | |
| | Positive | Negative | Positive | Negative | Positive | Negative | Positive | Negative | |
| インパクトカテゴリー | | | | | | | | | |
| 社会 | 水 | | | | | | | | |
| | 食糧 | | | | | | | | |
| | 住居 | ◆ | | ◆ | | ◆ | | ◆◆ | |
| | 健康・衛生 | | | ◆ | | | | ◆ | ◆ |
| | 教育 | | | | | | | | |
| | 雇用 | ◆ | ◆ | ◆ | ◆ | ◆ | ◆ | ◆ | ◆ |
| | エネルギー | | | ◆ | | | | ◆ | ◆ |
| | 移動手段 | | | | | | | | |
| | 情報 | | | | | | | | |
| | 文化・伝統 | | | | | | | | ◆ |
| | 人格と人の安全保障 | | | | | | | | ◆ |
| | 正義・公正 | | | | | | | | |
| 強固な精度・平和・安定 | | | | | | | | | |
| 環境 | 水(費) | | ◆ | | ◆ | | ◆ | | ◆ |
| | 大気 | | ◆ | | ◆ | | ◆ | | ◆ |
| | 土壌 | | | | | | | | ◆ |
| | 生物多様性と生態系サービス | | | | ◆ | | | | ◆ |
| | 資源効率・安全性 | | ◆ | | | | ◆ | | ◆ |
| | 気候 | | ◆ | | ◆ | | ◆ | | ◆◆ |
| | 廃棄物 | | ◆ | | ◆ | | ◆ | | ◆◆ |
| 経済 | 包括的で健全な経済 | ◆ | | | | ◆ | | ◆ | |
| | 経済収束 | | | | | | | ◆ | |

②南陽吉久株式会社の事業活動におけるインパクトの抽出

①分布図中の「◆◆」は重要な影響があるカテゴリー、「◆」は影響があるカテゴリーを示しており、南陽吉久株式会社の事業活動における「◆◆」「◆」の影響を検討する。なお、南陽吉久株式会社を中心としたビジネスモデルと関連性の高い項目のみを抽出して検討する。

重要な影響があるカテゴリーとして、ポジティブでは「住居」、ネガティブでは「気候」「廃棄物」が挙げられた。影響があるカテゴリーとして、ポジティブでは「雇用」「エネルギー」「包括的で健全な経済」が挙げられた。ネガティブでは「健康・衛生」「雇用」「エネルギー」

一」「人格と人の安全保障」「水（質）」「大気」「土壌」「生物多様性と生態系サービス」「資源効率・安全性」が挙げられた。

③ インパクトの検証

当社グループは、富山県を中心に建材卸売事業、建築事業、不動産事業、太陽光発電事業等、人々の住まいや暮らしに関連する多様な事業を展開している。これらの事業活動を通じて、地域社会の人々の生活や人生が個性的で楽しく、豊かなものになること、そしてすべての「LIFE」を「LIVE」に進化させることをグループの使命として掲げ、地域社会の住まいと暮らしに新たな価値を創造し続ける企業である。

当社グループの中核企業である南陽吉久株式会社は建材卸売事業を展開し、建築資材や住宅設備機器、太陽光設備等の供給を行っている。その他、当社グループでは建築事業において戸建住宅や集合住宅、店舗等の設計・施工を展開しており、不動産事業においては宅地造成や賃貸物件の管理・仲介を行い、地域社会に対して高品質で高性能な住まいや暮らしの提供を通じて、「住居」におけるポジティブインパクトを創出・拡大している。

また、南陽吉久株式会社は単に住まいを提供するだけでなく、新工法である「大型パネル工法」の積極的な採用や普及拡大に向けたセミナー開催を通じて、省力化を推進している。さらに、次世代型パネル「アクラスパネル」の取扱量拡大にも率先して取り組んでおり、業界を牽引するこれらの取り組みは「包括的で健全な経済」におけるポジティブインパクトの創出に貢献しているといえる。

環境面において、当社グループはSDGs宣言やカーボンニュートラル宣言を実施し、持続可能な社会やカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを社内外に公表している。南陽吉久株式会社では、これまでに自社の自家消費型太陽光発電設備の導入や木材のカスケード利用によるバイオマスの利活用促進に取り組んできた。当社グループとしては、設立70周年を記念した地域での記念植樹及び森林保全活動、さらに自家消費型発電システムの販売・施工件数の積み上げにより、地域全体のGHG排出量削減に貢献してきた。

また、当社グループは今年度より「土Cプロジェクト」を全社横断的に始動した。本プロジェクトは、「自然環境は未来を創成する孵化装置であり、まちづくりの資源であり、グループすべてのビジネスの源泉である。森林と都市、地球と地域、自然と経済を分断しない」を基本コンセプトとして掲げ、地域社会のカーボンを貯め、カーボンを減らす活動を本格的に展開する予定である。これらの取り組みにより、「水（質）」「大気」「土壌」「生物多様性と生態系サービス」「資源効率・安全性」「気候」「廃棄物」といった環境に対するネガティブインパクトの抑制を図っている。

当社グループは、社員の健康を重要な経営資源の一つと捉え、健康の保持・増進に向けた取り組みを組織的に推進しており、健康経営優良法人の認定を取得している。加えて、ダイバーシティ推進室の設置や社員のキャリア形成を支援する社内スカウト制度の導入、男性社員による育児休業の利用促進や女性役員・管理職の積極登用に取り組んでいる。さらに、全社員参加型のグループ総会「LIVE! FORUM」では、優秀な社員の表彰やレクリエーション活動を通じて、社内コミュニケーションの促進と社員のモチベーション向上を図っている。社員一人ひとりが個性と能力を発揮し、多様で柔軟な働き方ができる職場環境の整備に努めている。

当社グループは「ジョブキッズとやま」や「社会に学ぶ14歳の挑戦」への参加を通じて、地域の未来を担う子供たちに職場体験を提供し、業界の魅力を伝えるとともに、自身の将来を考える機会を提供している。また、南陽吉久株式会社をはじめ、当社グループは創業以来、事業拡大に努めており、地域の雇用機会創出と積極的な採用活動を実施してきた。これらの取り組みにより、「雇用」のポジティブインパクトの拡大とネガティブインパクトの抑制を実現している。

(2) インパクトカテゴリーに対応する SDGs ゴール

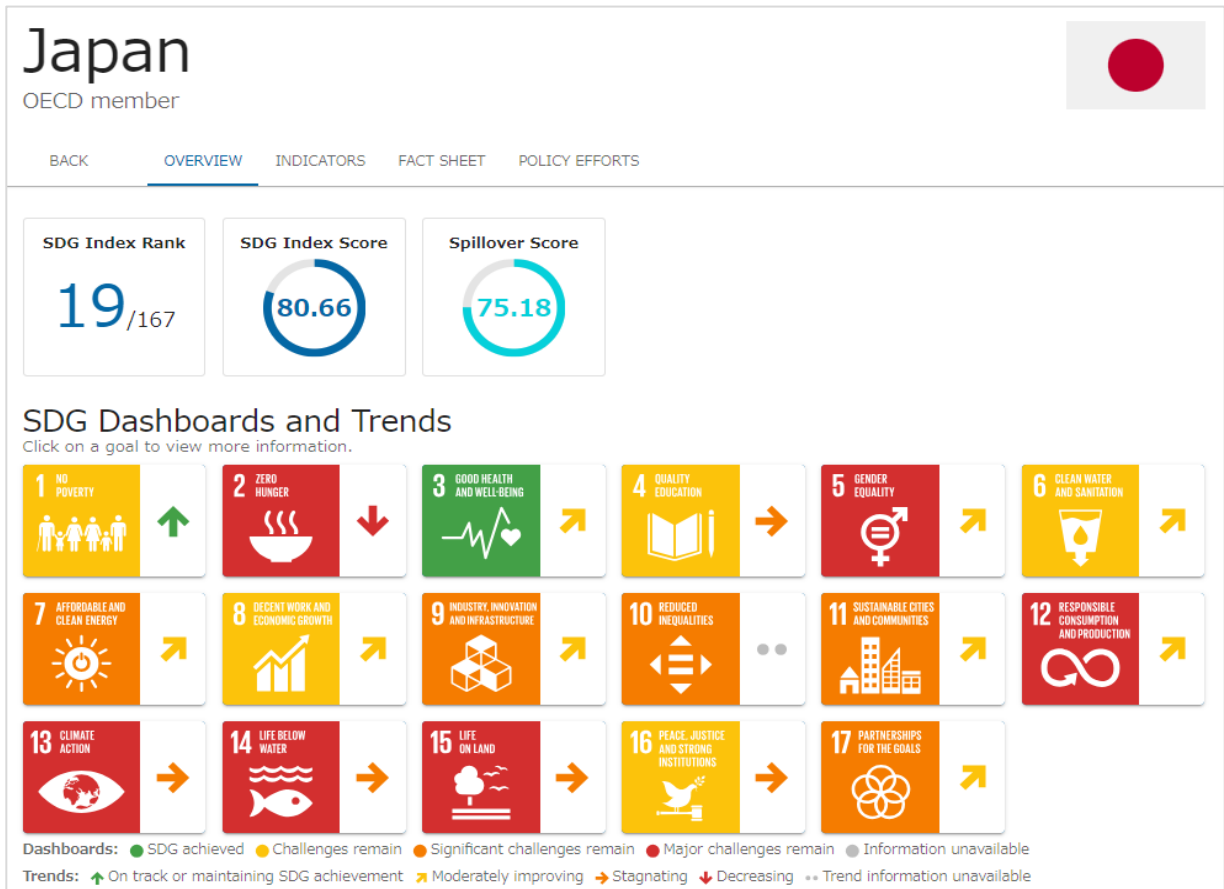
南陽吉久株式会社の売上高はすべて日本国内から生じるものであり、日本の SDGs ダッシュボードから南陽吉久株式会社の事業活動のインパクトとの関連性について確認する。前記抽出したインパクトと関連の高い SDGs ゴールは下記のようになる。



(3) 日本におけるインパクトニーズの確認

持続可能な開発ソリューションネットワーク（SDSN）に掲載されている日本のダッシュボードによると、大きな課題が残る項目が「赤色」、重要な課題が残る項目は「橙色」、課題が残るのが「黄色」、目標達成が「緑色」となる。

今回特定したインパクトと対応する SDGs ゴール 6 項目のうち日本に大きな課題が残る項目が 6 項目中 4 項目、重要な課題が残る項目は 2 項目該当しており、南陽吉久株式会社のインパクトは日本において重要度が高いと判断できる。



(4) 富山県の政策・戦略の確認 ～とやま未来創生戦略～

富山県は、約 4,248 km²の広さを有し、医薬品や機械、電子部品等を中心としたものづくり産業が盛んな日本海側有数の中核都市として発展してきた。水深 1,000mの「海の幸の宝庫」富山湾から 3,000m級の北アルプス立山連峰まで、自然豊かで多様な地勢を誇り、広大な森林面積や全国有数の水力資源、地熱資源に恵まれ再生可能エネルギーのポテンシャル（潜在可能性）が高いことも特徴である。

人口減少、少子・超高齢社会が進行する中、このような地勢を背景として、富山県では本県の自然、文化産業等各地域の特色、強みを活かした持続可能で活力ある未来を創造するため、平成 27 年 10 月から「とやま未来創生戦略」を、令和 2 年度から「第 2 期とやま未来創生戦略」を策定した。

第 2 期とやま未来創生戦略は、基本目標 1. 結婚・出産・子育ての願いが叶う環境整備、基本目標 2. 産業振興、若者等の雇用創出、観光振興、県内への移住促進、基本目標 3. 若者・女性・高齢者等多様な人材の確保と労働生産性の向上、基本目標 4. 活力あるまち・健やかな暮らし・未来を担う人づくりを掲げている。

| | | | |
|--|--|---|--|
| <p>基本目標 1 結婚・出産・子育ての願いが叶う環境整備</p> <p>① 結婚から子育てまで幅広い年齢層における少子化対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> (ア) 結婚・妊娠・出産支援 <ul style="list-style-type: none"> ○結婚を希望する男女の出会いの場の提供 ○ライフプラン教育の充実 ○若者・女性を中心とした移住・Uターンへの促進 ○妊娠、出産、健やかな子どもの成長のための環境整備 (イ) 家庭・地域における子育て支援 <ul style="list-style-type: none"> ○多様な保育・子育て支援サービスの充実 ○子育て支援人材の育成 ○子育て家庭の経済的負担の軽減 (ウ) 職場における子育て支援 <ul style="list-style-type: none"> ○仕事と子育ての両立支援に向けた職場環境の整備促進 <p>② 働き方改革を推進し、多様な生活の実現を図る少子化対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> (ア) 長時間労働の是正や柔軟な働き方の推進など働き方改革の推進 (イ) 男性の家事・育児参加の促進 | <p>基本目標 2 産業振興、若者等の雇用創出、観光振興、県内への移住促進</p> <p>① 産業・地域経済の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> (ア) 富山県の強みを活かした成長産業の育成 (イ) 中小・小規模企業の振興 (ウ) 企業立地等の促進 (エ) 農林水産業の振興 (オ) 環境・エネルギー産業の育成 <p>② 若者や女性が、いきいきと働き続けられる魅力ある地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> (ア) 若者・女性の就業支援・県内定着の促進 (イ) 高等教育機関の魅力向上 (ウ) 地域の魅力創出 <p>③ 観光の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> (ア) 選ばれ続ける観光地づくり (イ) 富山のブランド力アップ <p>④ 移住・定住の環境づくり、関係人口の創出・拡大等</p> <ul style="list-style-type: none"> (ア) 移住・定住の環境づくり (イ) 関係人口の創出・拡大 | <p>基本目標 3 若者・女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上</p> <p>① 若者や女性が輝いて働ける環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> (ア) 若者がチャレンジし活躍できる環境づくり (イ) 様々な分野で活躍できる女性人材育成 (ウ) 女性の再就職支援 <p>② 高齢者等が能力を発揮して活躍できる社会の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> (ア) 元氣な高齢者が活躍するための支援 (イ) 誰もがいきいきと働き活躍できる場の創出 <p>③ 外国人材活躍の促進と多文化共生の地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> (ア) 外国人材活躍の促進 (イ) 多文化共生の地域づくり <p>④ 多様な人材の確保・育成と労働生産性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> (ア) 多様な人材の確保 (イ) ものづくり分野や観光分野などでの人材育成 (ウ) 働き方改革を通じた労働生産性の向上 (エ) 産業の高質化・高付加価値の支援を通じた労働生産性の向上 | <p>基本目標 4 活力あるまち・健やかな暮らし・未来を担う人づくり</p> <p>① 交通ネットワーク整備と活力あるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> (ア) 陸・海・空の交通基盤整備 (イ) 快適で活力ある魅力的なまちづくり <p>② 人生 100 年時代を見据えた人づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> (ア) 健康寿命の延伸 (イ) 医療や福祉の充実 (ウ) 教育力の向上 (エ) 未来を拓く人材育成 (オ) リカレント教育の推進 (カ) 生涯にわたる学びの推進 (ク) 心の元氣を醸成する文化の振興 <p>③ 持続可能で安心して暮らせる地域の環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> (ア) 豊かで快適な環境づくり (イ) 安全・安心の確保 <p>④ 豊かで魅力ある中山間地域の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> (ア) 地域コミュニティの活性化 (イ) 地域経済の活性化 (ウ) 住民生活に必要な不可欠なサービスの確保 |
|--|--|---|--|

出典：富山県 第 2 期とやま未来創生戦略

当社グループは、富山県が掲げる基本目標に共鳴し、事業活動を通じてその実現に貢献している。グループミッションは、「住まい」「生活」「人生」をより生き活きと楽しいものにするものであり、建材卸売事業、建築事業、不動産事業、太陽光発電事業等、住まいと暮らしに関わる多様な事業を展開している。地域社会に関わるすべての人々の生活や人生を、より豊かで充実したものへと導くことを目指している。

特に、南陽吉久株式会社では新工法である「大型パネル工法」の普及拡大や次世代型パネル「アクラスパネル」の取扱量増大により、地域で住まいを必要とする全ての人に高品質かつ高性能な住宅を提供している。これらの工法は省施工・省人化にも対応し、建築業界が直面する人手不足の解消に寄与している。加えて、地場のビルダーや工務店を対象に定期的なセミナーを開催し、地域建築業界の持続的成長に資する活動を推進している。

南陽吉久株式会社が手掛ける太陽光発電事業では、再生可能エネルギーの普及を通じて企業の CO2 排出量削減や災害時の事業継続計画（BCP）の強化を支援している。なお、設立 70 周年を記念して行った植樹活動「サニーライブの森」は、地域の自然環境保全と持続可能な循環型社会の構築を目指しており、環境保全と経済活性化の両立に貢献している。

これらの取り組みは、富山県が掲げる「産業振興」「雇用創出」「活力あるまちづくり」「健やかな暮らし」の実現に直結している。

加えて、当社グループは社員の健康増進を重要な経営課題と位置付け、ダイバーシティ推進室の設置による柔軟な働き方の推進、社内スカウト制度によるキャリア形成支援、男性の育児休業取得促進や女性役員・管理職の積極登用等、多様な人材が能力を発揮できる職場環境を整備している。これらの施策は富山県の「多様な人材の確保と労働生産性の向上」にも合致している。

さらに、地域社会への貢献活動として、職業体験イベント「ジョブキッズとやま」や「社会に学ぶ 14 歳の挑戦」への参加、地元プロバスケットボールチーム「富山グラウジーズ」への協賛を通じて、次世代を担う人材育成やスポーツ振興にも取り組んでいる。これらの活動は「未来を担う人づくり」に寄与している。

(5) インパクトの特定

インパクト分析に加え、インパクトの達成と安定的な事業運営を両立し得るという観点で事業環境について検討し、下記のようにインパクトを特定した。

- ・ **高品質・高性能な住まいの供給により、豊かで生き生きとしたまちづくりに貢献**
- ・ **環境負荷軽減に向けた取り組みの強化**
- ・ **個性と能力を発揮し、多様で柔軟な働き方を実現できる職場環境を整備**

(6) 特定したインパクトと富山第一銀行との方向性の確認

南陽吉久株式会社のバリューチェーン分析、インパクトマッピング、日本におけるニーズや地域・業界におけるニーズや方向性等を踏まえて南陽吉久株式会社と特に関連性の高いインパクトを整理した。特定したインパクトと富山第一銀行のサステナビリティ方針と方向性が同じであることを確認する。

今回特定したインパクトは「**高品質・高性能な住まいの供給により、豊かで生き生きとしたまちづくりに貢献**」「**環境負荷軽減に向けた取り組みの強化**」「**個性と能力を発揮し、多様で柔軟な働き方を実現できる職場環境を整備**」である。

富山第一銀行では、サステナビリティ方針のなかで、「1.地域経済の持続的な成長」「2.地域社会の持続的な発展」「3.環境保全」「4.健全な企業経営」の4点を、サステナビリティを巡るマテリアリティ（重点課題）としている。




「**高品質・高性能な住まいの供給により、豊かで生き生きとしたまちづくりに貢献**」では「1.地域経済の持続的な成長」「2.地域社会の持続的な発展」という観点で、「**環境負荷軽減に向けた取り組みの強化**」では「3.環境保全」という観点で、「**個性と能力を発揮し、多様で柔軟な働き方を実現できる職場環境を整備**」では「4.健全な企業経営」という観点で、方向性が一致する。

以上より、本ポジティブ・インパクト・ファイナンスに取り組むことで、環境問題や地域社会・経済を取り巻く課題に対して持続可能な社会の実現に貢献し得る資金の提供が可能となり、本ファイナンスを通じてSDGs達成に向けた取り組みの支援を目指す。

6. KPI の設定



① 高品質・高性能な住まいの供給により、豊かで生き活きとしたまちづくりに貢献

住まいに関連する商品やサービスの提供を通じて、暮らし（LIFE）をより生き活きと（LIVE）したものにし、人々に笑顔をもたらす。同時に、当社グループ自身も LIVE 感を持ちながら生き活きとして新しい価値の創造に取り組み、社会面及び経済面でのポジティブインパクトの拡大を目指す。

| 項目 | 内容 |
|------------|---|
| インパクトの種類 | 社会面におけるポジティブインパクトの拡大 経済面におけるポジティブインパクトの拡大 環境面におけるポジティブインパクトの拡大 |
| インパクトカテゴリー | 「住居」「包括的で健全な経済」「資源効率・安全性」 |
| 対応する SDGs |    |
| 対応方針 | <ul style="list-style-type: none"> 新工法「大型パネル工法※1」の普及拡大・施工実績の積み上げ及び次世代型パネル「アクラスパネル※2」の取扱量増大により、高品質・高性能な住まいの供給を加速させるとともに、当社及び協力会社・関連会社の現場作業負担を軽減させる。 <p>※1 構造材、耐力面材、断熱材、下地、サッシ等の壁一面の構造を工場で一体化したパネルを使用する軸組工法。殆どの施工を工場で行うため、現場での省施工・省人化が可能。</p> <p>※2 耐震性、断熱性、施工性の三拍子が揃った次世代型パネル。ZEHに対応した仕様を標準装備しており、高い環境性能を有している。</p> |
| KPI | <ul style="list-style-type: none"> 新工法「木造大型パネル工法」による施工実績累計件数を 2027 年 3 月期～2029 年 3 月期において累計 140 棟以上とする。 (2027 年 3 月期より新たに提供開始するため、過去実績なし。) 2030 年 3 月期以降の目標は改めて設定する。 高性能パネル「アクラスパネル」の年間売上高累計を 2027 年 3 月期～2029 年 3 月期において 170 百万円以上とする。 (2024 年 3 月期～2026 年 3 月期実績：累計 94 百万円) 2030 年 3 月期以降の目標は改めて設定する。 |

② 環境負荷軽減に向けた取り組みの強化

環境配慮型製品や住まいの普及拡大を通じて、環境負荷や環境リスクの低減を推進し、環境面でのポジティブインパクトの拡大、ネガティブインパクトの抑制を目指す。

| 項目 | 内容 |
|------------|--|
| インパクトの種類 | 環境面におけるポジティブインパクトの拡大 |
| インパクトカテゴリー | 「気候」 |
| 対応する SDGs |   |
| 対応方針 | <ul style="list-style-type: none"> 住宅の新築や改修とあわせて自家消費型太陽光発電システムを活用することを提案し、地域全体の GHG 排出量削減に貢献する。 |
| KPI | <ul style="list-style-type: none"> 自家消費型太陽光発電システムの販売・施工の売上高累計を 2027 年 3 月期～2029 年 3 月期において 750 百万円以上とする。 (2024 年 3 月期～2026 年 3 月期実績：累計 546 百万円) 2030 年 3 月期以降の目標は改めて設定する。 |

③ 個性と能力を發揮し、多様で柔軟な働き方を実現できる職場環境を整備

ダイバーシティ推進室を中心に、各種社内制度の整備や啓発活動、働き方改革を積極的に推進し、社員が個性と能力を最大限に發揮できる環境を整える。また、健康保持・増進に向けた施策を戦略的に実行し、社員が生き生きと働ける職場環境を整備する。これらにより、社会面におけるポジティブインパクトの拡大及びネガティブインパクトの抑制を目指す。

| 項目 | 内容 |
|------------|---|
| インパクトの種類 | 社会面におけるポジティブインパクトの拡大 社会面におけるネガティブインパクトの抑制 |
| インパクトカテゴリー | 「雇用」 |
| 対応する SDGs |  |
| 対応方針 | <ul style="list-style-type: none"> 性別に関係なく、個々の能力を最大限發揮できる職場環境を整備し、女性社員の管理職及び役員への登用数を増加させる。 休暇制度の新設及び利用促進等の働き方改革の推進を通じてワークライフバランスの充実を図る。 |
| KPI | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 女性管理職及び役員の登用を 2027 年 3 月期～2029 年 3 月期において毎年 1 名以上実施し、また登用人数に占める女性の割合を毎年 25%以上とする。 (2024 年 3 月期～2026 年 3 月期実績：女性登用者累計 2 名、18.2%：2/11 名) ▶ 男性の育児休業取得率を 2027 年 3 月期～2029 年 3 月期において平均 75%以上に向上させる。 (2024 年 3 月期～2026 年 3 月期実績：16.7%) いずれも 2030 年 3 月期以降の目標は改めて設定する。 |

7. 管理体制とモニタリング

(1) インパクトの管理体制

南陽吉久株式会社は、代表取締役社長の中村 正治様を中心にサステナビリティに関する方針・施策の決定や、重要課題（マテリアリティ）の検討、推進、進捗状況のレビュー等を行っている。

本件におけるインパクトについては、サニーライブホールディングス株式会社を中心となり、管理・KPI 達成に向けた施策を実施する。

| | |
|-------|------------------------|
| 最高責任者 | 代表取締役社長 中村 正治 |
| 管理責任者 | 執行役員 財務経理部長 前田 哲也 |
| 管理部署 | サニーライブホールディングス株式会社 経理部 |

(2) モニタリング方法

本ポジティブ・インパクト・ファイナンスで設定した KPI の達成及び進捗状況については、富山第一銀行と南陽吉久株式会社とで定期的に面談の場を設け共有する。本面談は少なくとも年 1 回実施するほか、日頃の情報交換や営業活動の場等を通じて実施する。

富山第一銀行からは、KPI 達成に必要な資金及びその他ノウハウの提供、あるいは富山第一銀行の持つネットワークから外部資源とマッチングすることで、KPI 達成をサポートする。

モニタリング期間中に達成した KPI に関しては、達成後もその水準を維持していることを確認する。なお、経営環境の変化等により、KPI を変更する必要がある場合は、富山第一銀行と南陽吉久株式会社が協議のうえ再設定を検討する。

注意事項・免責事項

1. 本評価書は、株式会社富山第一銀行が南陽吉久株式会社から提供された情報や独自に収集した情報に基づく現時点での計画または状況に対する評価で、将来におけるポジティブな成果を保証するものではありません。
2. 富山第一銀行は、本評価書を利用したことにより発生するいかなる費用または損害について、一切責任を負いません。

- 本件に関するお問い合わせ先
株式会社富山第一銀行
法人事業部 法人コンサルティングチーム
〒930-8630
富山市西町5番1号（TOYAMA キラリ 7F）
TEL (076) 461-3871